

「天一国完成は私の夢」



天の父母様の夢であり、真の父母様の夢である天一国完成に向けて、摂理の最前線に立って中断なき前進を成しておられる方が、真のお母様であります。お母様と一つとなれば出来ないことはありません。お母様のビジョンと一つになり、そしてビジョンを実現する主人公に私たち一人一人がなっていくことが天のメッセージであります。それを決心するところに天の祝福と恩恵、真の父母様が与えて下さった巡回での天運の相続が成されていきます。責任を持つことを通して自分自身の霊的成長、心情の成長が成されていくのであります。

“天一国完成は私の夢”を実現していく為には、真の父母様の恩恵を深く感じていくことです。真の父母様に会ったこと、み言に会ったことなど、感謝の心が伝道の秘訣であります。お母様が語られている全てに感謝していく、良くて悪くても感謝していくことが幸福への種まきであります。喜びと幸せを伝えていく私たちになっていくことで、さらに伝道が進んでいきます。日本が行くべき道は真の父母様と一つとなり、そして韓日が一つとなり、アジアと世界の為に生きていくことが、日本が生きる道であると、お母様は日本巡回講演で語られました。基元節以降は、真の父母様が全て責任を果たしていかれた内容を、子女が実体でもって責任分担を果たしていく時であります。本物になっていく為にも真の父母様の似た者となっていかなければなりません。アジアの為に世界の為にという意識をもって実践することを通して日本は生かされて祝福を受け、天運と繋がっていきます。発展していくためには純粋に投入していくことが必要です。

天一国完成に向けて夢を実現していく為には、一つになることです。その為には、まず信じるのが大切です。自信に満ち溢れた人生をつくるためには、信じる心で見つめていくことです。信じるからこそ夢は実現していき、信頼することによって、愛が育まれていきます。そして安定した心を持つことができます。人間関係の土台は、親子関係にあります。他人には客観的な目で見つめることが出来たととしても、自分の親や子供に対しては客観的な目で許しと愛を見失ってしまうことがあります。否定的に見たり、批判的に見てしまいます。家族関係が大切であることを無意識に分かっているので、本質的な基準を要求してしまうからです。信じられない原因が相手にあると思込んでいると難しいです。相手に原因があったとしても自分にも原因があります。原因が相手にあるとしても、信じられない自分にも原因があることを思って、子供に対しても信じる親になり、どのような状況に置かれたとしても“あなたであれば成功できる”というメッセージと思いを繰り返し続ける姿勢が重要であります。“家和して万事なる”を土台としながら、教会が家族のように一つとなって、お母様のビジョンを実現していく私たちとなれるように努力していきましょう。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします  
神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、ビジョン2020勝利のための「第二次40日特別精誠路程」が行われています。

期間：2013年10月28日(月)～12月6日(金)【40日間】

- 3、11月度伝道三日路程が行われました。

11月12日(火)～14日(木)

結果：1位 北都、2位 伏見、3位 京都

- 4、京都を愛する書写の会

日時：11月26日(火) 10:30～

場所：京都教会

- 5、京都教区 清平役事19周年記念特別大役事ツアー

日程：2014年1月17日(金)～1月20日(月)

清平大役事参加、「野牧教会」訪問、市内観光など

- 6、京都セミナー(二日修練会)

日程：11月30日(土)・12月1日(日)

場所：サン・アカデミー京都

【1日目】13:30～20:00 (13:00受付)

【2日目】10:00～16:00 (9:30受付)

- 7、しあわせ講演会

毎週金曜日 10:30～、14:00～ 場所：サン・アカデミー京都

- 8、教区全体特別精誠祈祷会

毎週金曜日 21:00～ 場所：京都教会

- 9、VISION2020勝利の為の基台長及び区域長修練会

日程：12/5(木)～12/10(火)、12/19(木)～12/24(火)

- 10、清平修練会

11/30(土)～12/2(月)、12/7(土)～12/9(月)

(四位基台入籍祝福式)

☆ 12月は、霊肉界マッチング修練会が行われます。

霊肉界マッチング修練会：12/13(金)～12/15(日)

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



京都教会

Holy Spirit Association For Unification  
of World Christianity Kyoto Church  
世界基督教統一神霊協会

教区長：武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町6

Tel : 075-313-0539 / Fax : 075-325-2712

E-mail: son\_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP : http://www.uckyo.org/

## 式次第



執礼者：武藤努教区長

司会者：佐々木大作

開 会	.....	司会者
黙 禱	.....	全 体
※開会讃頌	..... 天一国の歌 .....	全 体
※敬 拝	.....	全 体
※家庭盟誓	.....	全 体
代表祈祷	.....	
讃 頌	.....	聖歌隊
み言訓読	.....	全 体
説 教	新氏族的メシヤは 私たちの生命線	
※讃 頌	..... 聖歌 7 番 .....	全 体
※祝 禱	.....	教区長
※全体祈祷	.....	全 体
教会音信	.....	司会者
閉 会	.....	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

## 今週のみ言

皆さんが氏族的メシヤという特権的な恵沢を受けたのなら、イエス様以上の深刻な立場で、どれほど国を愛い、神様のみ旨を心配してみたかというのです。イエス様は、二十四時間祈っていない時がありませんでした。時間さえあれば祈り、霊界と相談しながら、あすの一日をより価値のある日として残すためにあらゆる精誠を尽くしましたが、彼の一生においてそのような価値ある一日を残すことができず、途中で敗者の悲しみを抱いて亡くなったではないですか。

そのような悲運の歴史を遮り、イエス様以上の価値をもった立場を天から特権的恵沢として受けた資格者がいるとすれば、今日の皆さんのように生きる人でしょうか。考えてみてください。このような問題を考えてみると、私たちは再び決意をしなければならず、再整備をしなければなりません。

先生は、息子、娘たちに、苦労した歴史の道を残したくありません。私一人で十分です。私が一人で責任をもち、子孫が行く道に蕩滅がないようにしたというのです。皆さんは今まで蕩滅するために努力したと思いますが、これからの努力は、霊界に行けば自分の所有権として連結されるのです。

今までは蕩滅の道だったので、いくら蕩滅したとしても、残されるものではありませんでした。すべて流れていってしまったのです。しかし、今、氏族的メシヤとして成し遂げていくすべてのものは、霊界に行って自分の所有権として連結されます。自分のものとして残るというのです。

父母様が願うとおりのその方向に歩いていかなければ、サタン圏の讒訴条件によって日本列島がすべて太平洋に沈んでいく道が残っています。完全に拒絶しなければならぬ日が待っています。日本は父母様が願う方向に歩んでいますか。皆さんはそうになっているのですか。三代を復帰しなければなりません。三代です。氏族圏を伝道して、氏族的メシヤにならなければならぬのです。

皆さんは日本人ではありません。体は日本人のものだとしても、神様の息子です。神様の娘です。神様の息子、娘だとすれば、神様の本郷の世界に向かう主人として堂々としていなければなりません。み言には天下がひざまずくのです。そのような意味で、新しい決意を固めなければなりません。

(氏族的メシヤと天一国創建)

## 統一運動

リポート ～ 飛躍するアフリカ ～

アフリカでの活動について、アフリカにおける統一運動に責任をもつ大塚克己・アフリカ大陸会長によるリポートを紹介いたします。

■音楽の原点はアフリカに

音楽には人種や国境の違いがありません。長い歴史を通して多くの人々は、うれしいとき、悲しいとき、頑張って活動するときなどに歌を歌ってきました。神様と出会った感動や、救いを感じたときの恩恵、そして信仰の姿勢を表現する音楽が、聖歌や讃美歌です。どんな宗教活動においても、音楽や歌は信仰生活の重要な要素となってきています。

多くの学者の研究によると、人類の起源はアフリカにあると言われていいます。アフリカ東部に位置するタンザニア連合共和国は、人類の「音楽の故郷」とも言われています。人類誕生以来、音楽の原点がアフリカにあるということです。

■13か国15チームが応募、映像作品を上映

アフリカの中央部に位置するコンゴ民主共和国やアンゴラ共和国では、特に音楽が盛んです。世界平和統一家庭連合の教会の礼拝では、音楽が大切な要素となっていることはもちろんです。朝の訓読会や礼拝の時に、参加者が歌う聖歌が自然に合唱となるのです。教会には伴奏用のピアノも楽器もありませんが、太鼓が一つあれば十分のようです。

コンゴの首都キンシャサ市の礼拝では、参加者2500人が自然に合唱する姿はとて感動的です。また、コートジボワール共和国の教会での礼拝では、参加者が激しく歌って踊ることもあります。「真の父母様は信仰の保護者であり、私たちの栄光である」と歌う姿は感動的です。

そのようなアフリカ各国の家庭連合の教会聖歌隊が競う「第1回 真のお父様聖和1周年記念聖歌隊コンクール」が、10月に開催されました。

アフリカ大陸は広大なため、全ての聖歌隊が一か所に集まることは不可能です。そのためコンクールは、ビデオやDVDに収録された映像を上映する形で開催されました。アフリカの各地で撮影・録音した合唱を集めるだけでも大変な時間がかかりました。

多くの教会では録音設備もないため、デジタルカメラで撮影したものも多くありました。困難な環境の中から応募してきた彼らの努力に、心から頭が下がる思いでした。

結果は、コンゴの一世の聖歌隊「New Hope Singers」が金賞、そして、アンゴラの二世の合唱団が銀賞、そしてコンゴの二世の聖歌隊が銅賞に輝きました。さらに世界宣教本部特別賞には、民族音楽を巧みに表現したブルンジ共和国の合唱団が受賞しました。

